

新潟県プレコンセプションケア推進計画素案概要

【計画により目指す姿】

若い世代の県民が、性別を問わず、プレコンセプションケアの概念を理解して、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン(将来設計)や将来の健康を考えて健康管理を行うことができる。

【基本的な考え方】

- 性別を問わず、思春期から30歳以下の若い世代(将来の妊娠・出産の意図に関わらず全ての人)を対象に取組を展開。
- 生物学的性差、社会的性差(ジェンダー)を考慮し、取組を展開。
- 中高生、大学生、キャリアとのバランスを検討している20～30歳代、具体的に妊娠を考えている方等、各ライフステージに応じて取組を展開。
特に、妊娠・出産を含めたライフプランを具体的に考え始める年代である専門学校生や大学生、企業の若手職員等に対するアプローチを強化。

【施策の展開】

主な施策	取組の柱Ⅰ 性や健康に関する正しい知識の普及と情報提供	取組の柱Ⅱ プレコンセプションケア普及に係る人材育成	取組の柱Ⅲ 市町村・学校・企業等におけるプレコンセプションケアの取組の支援	取組の柱Ⅳ プレコンセプションケアに関する相談支援の充実
	● ライフステージに応じたプレコンセプションケアの概念の普及 ● 「健康立県ヘルスプロモーションプロジェクト」を通じた若い世代の健康管理についての知識の普及 ● 月経関連疾患等の婦人科疾患や子宮がん予防等、女性特有の健康課題に関する普及啓発 ● 専門学校生・大学生・企業の若手職員等に対する結婚、妊娠・出産に関する正しい知識の普及 ● 妊娠を希望する方に対する不妊や葉酸の摂取等の妊娠前から知っておくべき知識の普及	● プレコンサポーター養成講座の受講促進 ● プレコンサポーターに対する情報提供等の活動支援 ● 市町村・企業・学校等に対する健康教育への従事が可能なプレコンサポーターに関する情報提供 ※プレコンサポーター:「プレコンセプションケアを推進することを目的とし、自治体・企業・教育機関等において、性別を問わず、性や健康に関する正しい知識の普及を図り、健康管理を行うよう促す人材」と定義。	● 教員の指導力向上及び指導体制の充実 ● 学校等と連携した情報提供や健康教育の実施 ● 研修会や会議等による健康教育従事者等の資質向上 ● にいがた健康経営推進企業認定制度における健康経営の取組の促進 ● 企業における女性の健康支援やプレコンセプションケアの取組の促進 ● Ni-ful認定制度における多様で柔軟な働き方・女性活躍の取組の促進	● 若い世代が気軽に相談できるよう、目的や内容に応じて相談窓口を設置 ● 若い世代に対するプレコンセプションケアに関する相談窓口の周知 【主な相談窓口】 ・にいがた助産師そうだん:思いがけない妊娠や望まない妊娠、子育てや思春期、からだのことなど、助産師による相談対応を実施 ・新潟県不妊専門相談センター:不妊・不育症に悩む方に対し、専門の医師が治療に関する情報提供や相談対応を実施
評価指標	○若い世代におけるプレコンセプションケアの概念の認知度	○プレコンサポーターの人数(プレコンサポーター養成講座基礎編修了者数)	○にいがた健康経営推進企業で女性特有の健康課題に取り組む企業の割合 ○プレコンセプションケアの取組を実施する市町村数	○若い世代における相談窓口の認知度